

2022（令和4）年度

事 業 計 画 書 (案)

自 2022年4月1日

至 2023年3月31日

釧路商工会議所

2022 年度 事業計画大綱

2022年度 事業計画大綱

我が国経済は、一昨年来続いている新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、数回に亘り発せられた緊急事態宣言が解除となり、感染対策やワクチン接種の進行などにより段階的に行動制限が緩和されつつあるものの、新たな変異株の流行もあり、飲食業、観光関連業界をはじめ依然として厳しい状況にある。

加えて、人口減少や少子高齢化が進む中、地域経済を支える中小・小規模企業においては、深刻な人手不足や後継者難、さらには消費市場の縮小に加え、原材料価格高騰や賃上げなどの経営課題を抱えている。

こうした状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、「中小企業の支援強化」と「地域の再生」を柱に、経済を活性化しなければならない。

「中小企業の支援強化」では、事業者に寄り添う伴走型の経営発達支援体制をさらに充実させるとともに、経営環境の変化に対応して中小企業の事業再構築などをサポートする他、激甚化する自然災害の脅威や新型ウイルスの流行に備え、BCP（事業継続計画）の策定を支援していく。

また、デジタル活用による生産性向上に向けた取組を支援するとともに、担い手不足対策として若年層の就業機会はもとより、女性や高齢者など多様な人材の社会進出を促進していく必要がある。さらに、減少する需要を補うため、国内外における販路拡大などにも積極的に取り組み、市場の開拓により地域経済への波及・改善につなげていくことが重要である。

「地域の再生」では、昨年、基幹産業の一翼を担ってきた日本製紙釧路工場の紙・パルプ事業撤退により経済的に大きな打撃を受けたことから、これに代わる新たな産業の種を蒔き、育てていかなければならない。また、防災等の視点を含む鉄道高架の推進など都心部の活性化をはじめ、地域資源の再生エネルギーへの変換等による有効利用、石炭産業の継続などエネルギーの地産地消を推進していく。

観光については、2023年に開催が決定したATWS（アドベンチャートラベルワールドサミット）の成功に向けて、その中核フィールドとして、東北海道のコンテンツの充実やガイドの養成などATのレベルアップを図ることが重要である。また、ワーケーションによる滞在周遊の促進など、観光資源のポテンシャルなどを活かし、観光客の誘致に努め、域外需要を取り込む必要がある。

これらを踏まえ、地域資源を活かした産業の育成や新たな市場の拡大などにより、地域経済の活性化を図るとともに、働き方改革やテレワークなどを通じた地方分散の機運の高まりにより、関係人口や交流人口の増加に向けた取組を進めていかなければならない。

また、地方創生にとって効果が大きい社会資本整備では、北海道横断自動車道の延伸やオホーツク圏とを結ぶ高規格道路の整備、釧路中標津道路の早期完成などをはじめ、釧路港港湾計画に基づく一層の機能確保、さらに、たんちょう釧路空港の路線拡充や空港機能の充実強化及び利用促進を図るなど、地域の魅力や優位性を国内外にアピールし、経済の発展につなげていく。

併せて、単独では維持困難な路線として発表されたＪＲ北海道の釧網本線及び花咲線については、関係機関と連携し、維持存続に向けて取り組むとともに、地域一体となった支援策を検討していく。

地域総合経済団体として、地域経済社会の活性化をあらゆる角度から支援するためには、地域の声を幅広く集約し、行動する商工会議所として、常に広い視野を持ってリーダーシップを発揮し、新型コロナウイルス感染防止に折り合いをつけながら、これまでより一步進めた経済活動の活発化を両立させ、新しい時代に相応しい活力ある地域づくりと中小企業の振興・発展に全力を尽くしていく所存である。

以上のような情勢認識と基本的な考え方を踏まえ、会頭方針と2022年度の重点事業項目を次の通り定め、事業計画を策定した。

記

- | | |
|-----------|--|
| 1. 方
針 | 行動する会議所
信頼される会議所
親しまれる会議所 |
|-----------|--|

- | | |
|-----------|--|
| 2. 重点事業項目 | <ul style="list-style-type: none">・ 新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立・ 新たな産業の創出に向けた調査・研究の推進・ 観光を含む地域資源の育成、産業基盤の強化・ 防災機能を備えた鉄道高架及び駅周辺整備事業を含む釧路都心部まちづくり計画の推進 |
|-----------|--|

2022 年度 事業計画

2022年度 事業計画

1. 政策提言活動の強力な展開

ひがし北海道の拠点都市として、中小企業の実情を踏まえた景気対策と活性化策の推進、産業振興策の積極的展開、原材料価格の高騰による価格転嫁対策などを訴えていくと共に、北海道横断自動車道の延伸や高規格道路、港湾、空港をはじめとする社会基盤整備の実現など、根室圏域と一体となった実効性のある政策提言活動を展開する。

【アクションプラン】

1. 景気対策に関する建議要望
 2. 国土交通省北海道局並びに北海道開発局をはじめとする国出先機関の存続に関する建議要望
 3. 社会・産業基盤整備促進に関する建議要望
 4. 地域活性化、産業振興に関する建議要望
 5. 中小企業支援に関する建議要望
 6. 金融・税制改正に関する建議要望
- ・東北海道商工会議所連絡協議会、根釧圏（シマフクロ圏）発展推進機構による要望活動、及び北海道商工会議所連合会、日本商工会議所等と連携した要望活動を実施

2. 産業の育成振興

地域特性を生かした産業の育成・振興を図り、石炭産業については国のエネルギー政策としての位置付けと産炭国に対する石炭採掘・保安に関する技術移転等事業の充実及び継続、及びカーボンリサイクル事業への支援の継続を強く求めるとともに、地域資源の再生可能エネルギーへの変換、余剰窒素の有効利用など、エネルギーの地産地消を推進していく。また、水産業における養殖事業の可能性を探るとともに、製造業における技術力の向上や地場製品の海外展開支援、産学協働の推進、観光産業の振興を目指す。

【アクションプラン】

- 1. 産炭国に対する石炭採掘・保安に関する技術移転等事業の充実及び継続、及びエネルギー自給力向上策の推進**
 - ・石炭産業の継続、及びカーボンリサイクル事業への支援継続については要望活動を実施
 - ・エネルギー自給力向上の検討のため、「釧路地域水素エネルギー研究会」による研修や視察などの実施
 - ・北海道大学を代表機関とする共創の場形成支援事業「地域エネルギーによるカーボンニュートラルな食料生産コミュニティの拠点形成」への参画
- 2. 地場産業振興策の推進**
 - ・各部会活動による検討、推進
 - ・各業界との情報交換など
 - ・水産養殖事業による可能性調査
 - ・牛乳、乳製品、水産加工品など地場加工製品の消費・販路拡大
- 3. 観光産業の振興と受入体制の強化**
 - ・ホスピタリティ運動、まちなか観光周遊・滞在促進事業への参画、地域DMOとの連携、サイクルツーリズム推進協議会（道商連）への参画
- 4. 地元技術力による地場製品の販路拡大並びに域内循環の推進**
 - ・専門家や支援機関と連携した製品の開発・改良・販促支援、商談会支援
- 5. 地元大学等との产学協働の推進**
 - ・釧路公立大学、北海道教育大学、釧路短期大学、釧路工業高等専門学校と連携した地域への人材定着支援、釧路高専地域振興協力会の事業運営を通じた連携活動
 - ・产学研官連携による起業の促進
- 6. 事業化支援に向けた関係機関との連携**
 - ・公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター（釧路工業技術センター）の技術開発担当職員と当所経営指導員が連携した、経営及び技術の総合的支援の実施

3. 街づくりの推進並びに都市機能の充実

中心市街地再開発や地域商店街の活性化、物流拠点機能の向上、公共交通や都市機能の充実とそれらを活用した街づくりを進め、将来を見据えた防災・減災対策や景観・安全性に影響を及ぼす空き店舗・空きビル等の活用及び除却の検討などを含め、積極的に事業を推進する。

【アクションプラン】

1. 中心市街地活性化事業の推進

- ・中心市街地活性化協議会の運営、(株)まちづくり釧路と連携した事業の推進

2. 商店街活性化策の推進

- ・釧路市商店街振興組合連合会との連携、活動支援（各種会議への参加、子供1日店員事業、歳末連合大売出しなど）

3. コンパクトなまちづくりの推進

- ・行政との連携による釧路市立地適正化計画の推進
- ・地域交流拠点である新橋大通地区をはじめとする、市内8拠点形成に向けた活動への協力
- ・釧路市地域公共交通活性化協議会等への参画協力

4. 景観・安全性に影響を及ぼす空き店舗・空きビル等の有効活用及び除却の検討

- ・官民連携による対策の検討

5. 物流拠点港湾釧路港利用向上対策の推進

- ・ポートセールスの実施

6. JR釧網本線・花咲線の維持に向けた支援

- ・東北海道商工会議所連絡協議会、根釧圏（シマフクロ圏）発展推進機構による要望活動
- ・根室、釧路地域が一体となった支援策の検討

7. 都市間における公共交通網の利便性向上対策の推進

- ・都市間バスを活用した広域的利用の推進、函館便などの再開による航空路線の充実強化と北海道新幹線との連携、新規就航の要請に対応した道内空港運営時間の延長による利便性の向上

8. スポーツを通じた地域活性化の推進

- ・地域特性を活かしたスポーツによる産業化への可能性調査の実施
- ・札幌五輪招致を見据えた中で、当地域を開催地とする競技種目の可能性調査、及び誘致の検討

4. 中小企業の振興・人材の育成

地域の経済・社会を支える中小企業は、引き続き厳しい経営環境にあり、限られた経営資源により経営課題を克服して事業を継続しなければならない。また、地球環境への配慮やDX、SDGs等の取り組みが進む中にあって、新たな課題にも直面している。そのため、伴走型のきめ細かい経営支援を推進し、金融機関、支援機関、行政、釧路市ビジネスサポートセンター（k-Biz）、専門家等との連携を深め、経営力強化、創業、事業承継等の支援に積極的に取り組むことにより、中小企業の振興と地域経済の回復につなげていく。

【アクションプラン】

1. 経営発達支援計画に基づく伴走型小規模事業者支援事業の積極的推進

- ・経営指導員の伴走支援による経営分析・事業計画策定及び実行支援、販路拡大など経営発達支援計画に基づく事業を展開

2. 事業継続力強化支援計画に基づく小規模事業者への防災・減災対策支援の推進

- ・釧路市と共同策定した事業継続力強化支援計画に基づき、小規模事業者が自然災害等の防災、減災の事前対策をまとめた事業継続力強化計画の策定推進や国への認定申請を支援

3. 中小企業に対する支援事業の積極的推進及び金融支援・経営相談体制強化

- ①経営指導員による窓口・巡回相談の強化と、支援機関・金融機関・専門家等と連携したワンストップ支援窓口としての機能強化を推進

- ②研修事業や専門家・支援機関との個別相談、各種補助金や公的融資・協調融資等を効果的に活用し、事業の再構築や生産性向上、製品・サービスの開発・改良、新たな需要の開拓に向けた事業者を支援

- ③中小企業を取り巻く喫緊の経営課題や持続可能な社会への対応支援

- ・事業継続に向けた相談・支援
- ・デジタル技術の活用（デジタルトランスフォーメーション/DX）による人手不足に対応した生産性向上に関する支援
- ・SDGs等に関する事業者への情報提供
- ・消費税対応に関する相談・支援
- ・中小企業の働き方改革への相談・支援
- ・中小企業の発展に向けた健康経営の推進
- ・地域経済の担い手を創出する創業支援事業の実施

4. 釧路市ビジネスサポートセンターとの連携による相談体制の強化

- ・経営指導員が同行し、売り上げ向上に特化した相談や創業支援に関する専門相談を実施するとともに、継続的なフォローアップを行う

5. 北海道事業承継・引継ぎ支援センター 釧路サテライトの運営

- ・事業承継に関する相談・支援にワンストップで対応する公的相談窓口としてサテライト拠点を運営し、専門家が承継実現まで継続的に支援する。

6. 地域における人材確保支援事業の実施

- ・合同会社説明会の開催、U I Jターン「新規就業支援事業」（東京圏からの移住促進事業）の活用推進
- ・地元企業への就職促進、定着並びに起業の促進に関する取組
- ・「地元企業を知り」「地域を担う人材の地元定着・促進」を図ることを目的に、地元企業に特化した企業情報・就活サイト「はたらくしきょう」を運営し、掲載企業の増加と情報力の強化を図る
- ・外国人材受入のための関係機関との連携
- ・女性や高齢者など多様な人材の社会進出の促進

5. 地域力の再生・強化

短期・中期的な取り組みとして、時をまたない活動、あるいは戦略的に活動を継続している事業などを取り上げ、「地域が持つ“潜在力”の発揮」をキーワードに、産業区分や行政区域などの枠にとらわれない、総合的に取り組める事業として具体的かつタイムリーに展開する。

【アクションプラン】

1. 釧路市まちづくり基本構想における重点戦略の積極的推進

- ・「まちの活力を高める経済活性化戦略」「地域経済を担う人材育成戦略」「経済活動を支える都市機能向上戦略」を進めるまでの施策への取り組み、及び経済・社会情勢や計画の進捗状況などを勘案した中期実施計画の見直しなど、行政と連携し推進する

2. 北海道ＩＲ（特定複合観光施設）誘致による地域活性化の推進

- ・苫小牧との連携による活動

3. 地域強靭化の推進

- ・ＢＣＰ（事業継続計画）の普及、啓発
- ・防災対策の推進

4. 食料基地構想の推進

- ・幹事会、視察研修会の実施、ポートセールス開催への協力

5. 観光需要回復に向けた取組の推進

- ・観光客誘致に向けた旅行補助事業の積極的な利用推進
- ・行政と連携し、海外観光客の誘致に向けた、2023年に開催が決定したATWS（アドベンチャートラベルワールドサミット）の成功に向け、その中核フィールドとして、東北海道のコンテンツの充実やガイドの養成、ウエルカムマインドの醸成などによりATのレベルアップを図る。

6. 阿寒湖及び周辺地域の世界自然遺産登録の推進

- ・東北海道商工会議所連絡協議会、根釧圏（シマフクロ圏）発展推進機構などによる要望活動

7. たんちよう釧路空港の路線拡充、空港機能の充実強化及び利用促進

- ・くしろ広域観光誘致推進協議会による国際線誘致事業や国内線利用促進事業への協力
- ・北海道エアポート（株）による釧路空港の運営に関する協議会（空港別協議会）への参画、ひがし北海道のゲートウェイとしての機能強化。官民連携による航空ネットワークの充実強化及び地域の特性、魅力を活かした空港づくりの実現と安定的な空港運営への協力
- ・たんちよう釧路空港の就航体制の整備並びに二次交通をはじめとする利用向上策などについて協議
- ・たんちよう釧路空港のCIQ体制の充実並びに国際ターミナル整備の推進

8. 水産都市ダナンをけん引する人材育成プロジェクトの推進

- ・釧路総合振興局及び釧路市により、当所が実施団体となる新たなJICA草の根技術協力事業の提案がされ、2020年10月に採択された。コロナ禍でも実施可能な事業内容への見直しを経て、2022年度中のJICAとの業務委託契約提携並びに事業着手に向けて活動する

9. 新たな産業の創出に向けた調査・研究の推進

- ・地域資源や優位性、遊休地を活かした新たな核となる産業の創出に向けた調査・研究

6. 情報発信事業の推進

WEBサイト、SNSや商工会議所報などによる会員向け情報提供の充実や、商工会議所活動への理解を広める活動を推進する。

【アクションプラン】

- ・WEBサイト、及びSNSを活用した情報発信の強化
- ・経営指導員の巡回による会員への会議所活動のPR
- ・HPのリニューアル

7. 新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている多くの企業の実態や経営環境を注視すると共に、即応できる相談体制の充実や様々な施策を着実に実行し、感染防止に折り合いをつけながら、一歩進めた経済活動との両立を目指す。

【アクションプラン】

1. 相談窓口の体制強化

2. 事業者の実情を踏まえた支援施策等の要望活動

- ・各種給付金の拡充、手続きの簡素化、雇用調整助成金の拡充・延長等

3. 会議・イベント等での感染症対策強化

- ・新北海道スタイルの徹底、飲食店における感染防止対策の認証制度（第三者認証制度）の普及啓発等

4. コロナ禍における地域振興策の推進

- ・状況に応じたワクチン・検査パッケージの活用の推進
- ・G O T O キャンペーン事業などの需要喚起策の推進、歓楽街コロナ対策連絡協議会との連携等

5. ポスト・コロナを見据えた施策等の推進

- ・「新たな日常」による働き方や環境の変化に伴う支援策などについて普及を図る

8. 組織・運営基盤の強化

部会活動を充実すると共に、会員堅持のための会員増強、生命共済キャンペーンなどを実施し、組織・運営基盤の強化を図る。また、S D G s（持続可能な開発目標）への取組などを進める。

【アクションプラン】

1. 部会活動の活性化

- ・部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ、活発な部会活動を行う
- ・部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- ・年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

2. 会員増強・生命共済制度、特定退職金共済制度の加入促進

- ・職員、議員による入会勧奨、アクサ生命との帯同訪問などの実施

3. S D G s（持続可能な開発目標）への取組

- ・S D G s（持続可能な開発目標）への取組に対する啓発と地球環境に配慮した取組の推進

4. B C P（事業継続計画）の策定

- ・当所のB C P（事業継続計画）を策定する

※《特別事業》

【アクションプラン】

1. 防災機能を備えた鉄道高架及び駅周辺整備事業を含む釧路都心部まちづくり計画の推進

- ・釧路市との連携、釧路駅周辺（ゲートウェイ）の再整備に係る施策の事業化に向けた取組を行う

2. 国際バルク戦略港湾としてのより一層の機能確保

- ・東北海道商工会議所連絡協議会、根釧圏（シマフクロ圏）発展推進機構などによる要望活動
- ・第2期工事に向けた行政との意見交換会の開催

3. 北方領土返還要求運動の推進

- ・北方領土復帰期成同盟と連携し、返還要求運動を継続

2022 年度（部会別）事業計画

商 業 部 会

1. 商業の創出及び活力強化

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策と事業活動の両立のための経営相談体制の強化
- (2) 北海道事業承継・引継ぎ支援センター 釧路サテライトを活用した事業承継の推進
- (3) 事業継続力強化支援計画に基づく小規模事業者への防災・減災対策支援の推進
- (4) デジタル技術革新（DX/デジタルトランスフォーメーション）の推進
- (5) 地元技術力による地場製品の販路拡大並びに域内循環の推進
- (6) 商業振興基金の効果的運用

2. 街づくりの推進並びに都市機能の充実

- (1) 中心市街地活性化事業の推進
- (2) 商店街活性化策の推進
- (3) コンパクトなまちづくりの推進並びに拠点形成に向けた活動への協力
- (4) 景観・安全性に影響を及ぼす空き店舗・空きビル等の有効活用及び除却の検討
- (5) 防災機能を備えた鉄道高架及び駅周辺整備事業を含む釧路都心部まちづくり計画の推進
- (6) 各種統計調査の活用

3. 部会活動の活性化

- (1) 部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ活発な部会活動を行う
- (2) 部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- (3) 年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

重点的に取り組むべき事業

◎新型コロナウイルス感染症対策と事業活動の両立のための経営相談体制の強化

商 事 部 会

1. 地場産業振興策の推進

- (1) 新たな産業の創出に向けた調査・研究の推進
- (2) 釧路地域水素エネルギー研究会の運営および北大「共創の場形成支援事業」への参画

2. 多様な業種による交流の推進

- (1) 異業種との交流によるビジネス機会の創出
- (2) 商事部会員の拡大

3. 部会活動の活性化

- (1) 部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ、活発な部会活動を行う
- (2) 部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- (3) 年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

重点的に取り組むべき事業

- ◎異業種との交流によるビジネス機会の創出
- ◎釧路地域水素エネルギー研究会の運営および北大「共創の場形成支援事業」への参画

理 財 部 会

1. 建議要望

- (1) 中小企業の金融支援
- (2) 中小企業関係税制の是正・拡充

2. 各種融資制度のPR及び利用向上

- (1) 新規開業資金の利用向上
- (2) 国融資制度の利用向上
- (3) 北海道融資制度の利用向上
- (4) 釧路市融資制度の利用向上
- (5) 必要に応じた関係機関との懇談会の開催

3. 各種税制の普及、啓発活動の推進

- (1) 税法説明会、講習会の開催
- (2) 消費税対応に関する相談・支援の実施
- (3) 消費税インボイス制度に関する周知・相談

4. 中小企業振興に向けた連携支援

- (1) 事業継続に向けた相談・支援
- (2) 経営発達支援計画に基づく伴走型小規模事業者支援事業の積極的推進
- (3) 事業継続力強化計画に基づく小規模事業者への防災・減災対策支援の推進
- (4) 中小企業に対する支援事業の積極的推進及び金融支援・経営相談体制強化
- (5) 釧路市ビジネスサポートセンターと連携した中小企業の活性化推進
- (6) 地域経済の担い手を創出する創業支援事業の実施
- (7) 事業承継に関する相談・支援の実施（北海道事業承継・引継ぎ支援センター
釧路サテライトと連携した支援）

5. 部会活動の活性化

- (1) 部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ、活発な部会活動を行う
- (2) 部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- (3) 年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

重点的に取り組むべき事業

- ◎釧路市ビジネスサポートセンターと連携した中小企業の活性化推進
- ◎事業継続に向けた相談・支援

水産部会

1. 水産業振興に関する提言・要望

- (1) 国際漁業対策の推進に関する要請
- (2) 魚価安定、流通対策の促進に関する要請
- (3) 水産資源の増大施策の充実及び沿岸漁場の再生整備に関する要請
- (4) 燃油高騰対策の実施に関する要請

2. 水産業の振興

- (1) 地場産品の販路拡大・地元消費の推進
- (2) 水産加工品の高付加価値化の推進
- (3) 釧路地域における地域ブランド化に対する支援
- (4) 「水産都市釧路」の発展に向けた事業の検討
- (5) 水産増養殖事業の可能性調査
- (6) 水産品・加工品の販路開拓に向けた調査研究

3. 水産業・水産加工業の人材の確保

- (1) 漁業就業者の確保に向けた取組

4. 水産業振興に向けた連携

- (1) 釧路食料基地構想協議会との連携
- (2) その他関係機関との連携
- (3) (仮称) 釧路市水産養殖研究会への参画

5. 部会活動の活性化

- (1) 部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ、活発な部会活動を行う
- (2) 部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- (3) 年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

重点的に取り組むべき事業

- ◎水産養殖事業の可能性調査
- ◎水産品・加工品の販路開拓に向けた調査研究
- ◎「水産都市釧路」の発展に向けた事業の検討

工 磺 業 部 会

1. 地元基幹産業「石炭・紙パルプ」との新たな街づくりの模索

- (1) 紙パルプ事業所をはじめとする製造事業者との連携強化
- (2) 石炭産業の継続、及びカーボンリサイクル事業への支援継続

2. 地域特性を生かした産業の育成・振興

- (1) 地域環境保全と向上に向けた酪農業・水産業等との連携強化
- (2) 技術力の向上や地場製品の販路拡大
- (3) AI（人工知能）、IoT等の活用に向けた研修
- (4) 技能者・技術者の育成および人材確保に関する研究

3. 水素エネルギーに関する研究

- (1) 釧路地域水素エネルギー研究会の運営

4. 釧路工業技術センターとの連携強化

5. 釧路工業高等専門学校との産学協働の推進

- (1) 地元企業への就職率向上（U I Tターン含む）

6. 部会員の相互連携、交流の推進

- (1) コロナ収束を見据えた地元企業視察や意見交換等の実施

7. 部会活動の活性化

- (1) 部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ、活発な部会活動を行う
- (2) 部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- (3) 年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

重点的に取り組むべき事業

- ◎地域特性を生かした産業の育成・振興
- ◎水素エネルギーに関する研究
- ◎部会員の相互連携、交流の推進

建設部会

1. 公共事業の確保と発注についての要請

- (1) 地元企業への受注機会確保に向けた要請
- (2) 適期発注と適正価格を反映した公共事業の要請
- (3) 木材・木製品（建材等）の有効活用による需要拡大の推進
- (4) ウッドショックの影響に対する支援要請
- (5) 原油及び原材料高騰に対する支援要請
- (6) 貸上げの加点措置に対する積算基準等の引き上げへの働きかけ

2. 東北海道圏域における道路網の整備促進

- (1) 北海道横断自動車道（一般国道44号）尾幌糸魚沢道路の整備促進
- (2) 都市間交通網の整備並びに利便性向上の推進
- (3) 予定路線区間「別保 - 尾幌」間の計画段階評価の早期着手

3. 防災機能強化に向けた街づくりの促進

- (1) 防災機能を備えた鉄道高架及び駅周辺整備事業を含む釧路都心部まちづくり計画の積極的な推進
- (2) 事業継続力強化支援計画に基づく防災・減災対策支援の推進
- (3) 地域強靭化の推進

4. 地元建設業並びに建設関連業界の技術力向上の促進

- (1) 若年者層を中心とした人材確保及び建設技能者の育成に向けた取組み
- (2) 「働き方改革」を見据えた労働環境対策の推進

5. 新規プロジェクトに対する積極的協力及び調査研究

6. 新分野進出に関する情報提供

7. 地元関連業界団体との連携協力

8. 部会活動の活性化

- (1) 部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ、活発な部会活動を行う
- (2) 部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- (3) 年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

重点的に取り組むべき事業

- ◎若年者層を中心とした人材確保及び建設技能者の育成に向けた取組み
- ◎事業継続力強化支援計画に基づく防災・減災対策支援の推進
- ◎地域強靭化の推進

運輸交通部会

《陸運関連》

I. 道路

1. 幹線道路の整備促進並びに物流拠点港湾釧路港の背後圏との高速物流ネットワークの形成

- (1) 北海道横断自動車道整備計画区間「阿寒一釧路西」間の令和6年度開通に向けた着実な事業の実施
- (2) 北海道横断自動車道釧路空港インターチェンジ(仮称)の令和6年度利用開始に向けた着実な整備の実施
- (3) 北海道横断自動車道本別ジャンクションの改良
- (4) 北海道横断自動車道(一般国道44号)尾幌糸魚沢道路の整備促進
- (5) 北海道横断自動車道予定路線区間「別保一尾幌」間の計画段階評価の早期着手
- (6) 高規格道路計画路線「釧路中標津道路(釧路町一標津町間)」の整備促進
- (7) 高規格道路計画路線「道東縦貫道路(美幌町一標茶町間)」の重要物流道路への指定及び調査促進
- (8) 一般国道38号釧路新道(4車線)の令和6年度完成に向けた着実な整備の実施
- (9) 地震津波災害発生時の円滑な避難、救援活動のための一般国道38・44号の無電柱化の推進
- (10) 一般国道240号の付加車線化、路肩拡幅、待避場所の確保等の整備推進
- (11) 釧路トライアングル整備構想の推進
- (12) 国道272号「上春別防雪」の整備促進

II. 鉄道

1. JR釧路・根室一札幌間の安全性の確保及び利便性の向上
2. JR釧網線・花咲線の維持並びに地域支援策の検討
3. JRの利用促進策の検討
4. 鉄道貨物輸送体制の維持・検討

III. その他

1. 防災機能を備えた鉄道高架及び駅周辺整備事業を含む釧路都心部まちづくり計画の推進
2. 公共交通機関の維持、利用促進
3. 都市間における公共交通網の利便性向上対策の推進
4. 除雪体制の強化並びに冬道における安全確保の推進
5. トレーラーに係る自動車税の見直し
6. 広大な土地を利用した物流拠点の整備に向けた研究
7. ドライバー不足解消へ向けた諸対策の検討

《海運関連》

1. 釧路港国際バルク戦略港湾としてのより一層の機能確保と利用促進
2. 港湾計画に基づく釧路港の整備促進

3. 釧路港を中心とした食料基地構想の推進
4. 釧路港東港区 防波堤(西)を含む既存港湾施設老朽化対策の推進
5. ポートセールスの実施
6. 釧路港のリサイクルポート指定へ向けた検討
7. コンテナ・フィーダー航路を含む新規航路及びフェリー航路の誘致
8. 鉄道貨物の海上輸送の検討・推進
9. 外貿コンテナ航路の拡充並びに港湾機能の強化
10. 耐震・旅客船ターミナル並びに幸町緑地の利活用推進
11. クルーズ客船の誘致
12. 北極海航路に関する調査・研究
13. 農水産物輸出促進計画における輸出拠点港湾への選定推進
14. みなとオアシス事業への協力

《 航 空 関 連 》

1. たんちょう釧路空港の路線維持・拡充、空港機能の充実強化及び利用促進

- (1) 霧対策としてのG B A S の早期導入及び I L S カテゴリーⅢb をより利用しやすくするための支援制度創設
- (2) 滑走路等空港基本施設の着実な更新・改良等
- (3) 就航体制の整備並びに二次交通をはじめとする利用向上策などの検討・推進
- (4) 既存航空路線の維持・利用促進
- (5) 季節運航路線釧路ー伊丹線・中部線の通年運航化及び利用促進
- (6) 函館線の再開推進
- (7) 東京線の機材大型化による利用促進
- (8) L C C の運航維持並びに利用促進
- (9) 国際チャーター便の誘致
- (10) C I Q 体制の整備・充実並びに国際ターミナル整備の推進

《 そ の 他 》

1. 釧路地域水素エネルギー研究会の運営および北大「共創の場形成支援事業」への参画

2. 部会活動の活性化

- (1) 部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ、活発な部会活動を行う
- (2) 部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- (3) 年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

重点的に取り組むべき事業

◎幹線道路の整備促進並びに物流拠点港湾釧路港の背後圏との高速物流ネットワークの形成

観光サービス部会

1. 観光産業の振興と体制の強化

- (1) 世界に通用する魅力ある観光地域づくりに向けた広域連携および事業の推進
- (2) 観光客の受け入れ体制の強化および誘致に向けたPR活動の推進
- (3) 北海道IR（特定複合観光施設等）誘致による地域活性化の推進
- (4) 自然災害発生時の外国人観光客に対する避難誘導マニュアルの整備促進
- (5) 各種イベントによる地域活性化の推進および調査・研究
- (6) ホスピタリティ精神の醸成
- (7) 関係機関と連携したワーケーションの推進

2. 都市滞在型観光の推進による中心市街地活性化

- (1) リバーサイドを活用したまちなか観光周遊促進事業の連携および事業の推進
- (2) 耐震旅客船岸壁等の利活用の推進
- (3) 諸施設活用によるMICEの誘致および環境の維持整備

3. たんちょう釧路空港の機能強化およびクルーズ客船誘致による地域活性化の推進

- (1) たんちょう釧路空港を活用した地域活性化の推進
- (2) 既存航空路線（国内定期路線・季節運行路線）の便数維持および利便性向上
- (3) 新規航空路線開設の推進
- (4) 国際チャーター便および国際定期路線の誘致活動への参画
- (5) クルーズ客船の誘致および満足度向上に向けた受け入れ体制の強化
- (6) 二次交通の利便性向上対策の検討
- (7) 北海道エアポート（株）（HAP）による釧路空港の運営に関する協議会への参画

4. 情報発信事業の推進

- (1) Webサイト等によるくしろ地域の魅力発信事業の推進

5. 新型コロナウイルス感染症への対応とウィズコロナ・ポストコロナへの取組の推進

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応の推進および情報発信
- (2) 観光客誘致に向けた旅行補助事業の積極的な利用促進
- (3) 状況に応じたワクチン・検査パッケージの活用促進

6. 部会活動の活性化

- (1) 部会の活動理念、ビジョンを検討・共有し、明確な活動目標を掲げ、活発な部会活動を行う
- (2) 部会活動を検証し、課題、問題点を抽出して、今後の部会活動の活性化につなげる
- (3) 年間スケジュールを作成し、部会活動を進める

重点的に取り組むべき事業

◎新型コロナウイルス感染症への対応とウィズコロナ・ポストコロナへの取組の推進

2022 年度（常設委員会）重点事業

常設委員会 2022（令和4）年度重点事業

総務財政委員会

- 組織力並びに財政基盤強化に向けた会員増強・各種共済制度の加入促進

地域開発委員会

- 防災機能を備えた鉄道高架及び駅周辺整備事業を含む釧路都心部まちづくり計画の推進
- 地域強靭化の推進
- 北海道ＩＲ（特定複合観光施設）誘致による地域活性化の推進

中小企業委員会

- 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた事業者支援の推進
- 人材確保対策の検討

都市イメージアップ委員会

- 釧路のイメージの現状把握と課題克服のための調査研究
- 若い世代へ釧路の魅力を伝え郷土愛を育む活動の検討および実施

政策委員会

- 遊休資産の利活用策の検討
- 産学官連携による起業の促進
- 社会资本整備による地域の「稼ぐ力」向上に向けた調査・研究